

○ SARSの影響調査（5月13日～16日実施）

1. 既に影響が出ている

	業 種 (規 模)	○ 既に影響が出ている事項 ● 今後影響が懸念される事項
製 造 業	自動車製造 (大企業)	○ 一部で日本人の引き上げを実施。海外生産に支障が出るとともに、海外支店・事務所の機能低下が懸念される。 ● 海外生産計画の延期に追い込まれることを懸念。
	鉄鋼(電炉) (大企業)	○ 半製品の輸出量が 30%減少している。 ● このまま長期化・拡大が進めば、半製品の輸出量は半減するものと思われる。
	繊維製品製造 (中小企業)	○ 中国・香港からの製品が、通常より 1 日程度遅配することがある。現地協力工場に対して、出張による指導・品質検査が出来ないので、即断即決が難しく、スケジュールが遅れている。 ● ファッション性の高い製品のため、指示書だけでは細かいニュアンスを伝えるのが困難。新商品の発注が出来なくなる可能性がある。現行の販売価格は海外生産を見込んだ上で設定しているので、この状態が続けば生産コスト上昇による利益圧迫が予想される。
非 製 造 業	建設業 (大企業)	○ 進出先で影響が出ている国(台湾、モンゴル)から帯同家族の引き上げを思案中。 ● 職員の引き上げ及び現場の稼働停止が懸念される。
	住宅 (大企業)	○ 中国・大連でホテルを営業させているが、出張者・旅行者の激減により稼働率が 70%ダウンした。また、賃貸事業(大連・上海・北京・天津)についても、日本人入居者の一部帰国により退去者が発生。赴任予定者については、日本で待機中のため入居が遅れている。 住宅事業では、図面や模型の製作等、一部業務を大連にオフィスを構えて行っているが、日本からの出張自粛により、新規業務導入作業の遅れが発生している。当社としても駐在員家族の一部帰国や新規赴任予定家族の着任延期などの措置をとっており、海外生産機能の低下が目立ってきた。 ● ホテル事業については、このままの状態が続けば稼働率の低下に伴う資金繰りの心配が出てくる。 住宅事業では、今年秋予定の日本での技術研修生受け入れが実現できるかどうか懸念される。
	繊維製品卸 (大企業)	○ 中国出張が出来ないため、現地との商談に支障を来している。商談スピードが遅くなっており、秋物からアイテム数と納期に問題が出てきそう。上海店の現地従業員を隔日勤務にしており、支店機能の低下も懸念される。 ● 今後さらに製品調達に支障を来すと思われるため、別ルートの調達先を開発中。SARS の拡大度合によっては、営業が続けられたとしても実質的に停止状態に追い込まれるのではないかと。

	業 種 (規 模)	○ 既に影響が出ている事項 ● 今後影響が懸念される事項
非 造 業	寝装品卸 (中小企業)	○ 新柄の打ち合わせが出来ず、海外からの材料等の調達に支障を期待している。 ● 上記影響がますます強まることを懸念する。
	機械卸 (大企業)	○ 出張が激減した。得意先への納入検収は日本人社員立会いのもとで行われるため、営業活動に支障が出ている。 ● 出張規制からくる営業機能の低下はますます進むものと思われ、中国、台湾、シンガポール等では前年度比 10%減の売上高を予想している。
	電気機器卸 (中小企業)	○ 海外からの製品・部品の調達に支障を来している。中国の工場と打ち合わせが出来ないため、海外生産にも影響が出ている。 ● 上記影響がますます強まることを懸念する。
	ホームセンター (大企業)	○ バイヤーが現地に出かけられない。 ● 拡大・長期化すれば、多方面への支障を懸念。
	リース (大企業)	○ 海外出張自粛によるビジネスチャンスの喪失。 ● 日本人引き上げ等により、海外支店・事務所の機能低下が懸念される。
	宣伝・広告 (大企業)	○ 現地で移動制限があるため、支店所在地以外の得意先への営業活動が行えない。中国側合弁相手との交渉事項も中断している。 ● 上記影響がますます強まることを懸念する。
	人材派遣 (大企業)	○ 当社の全長期稼働スタッフに対し、海外旅行の自粛を文書で通知。また、海外旅行に行くスタッフには、企業により最低 10 日間の自宅待機を要請される可能性がある。 ● 上記影響がますます強まることを懸念する。
	空輸 (大企業)	○ 前年物量比 130%程度で推移していたアジア向輸出が、前年並に鈍化してきた。 ● SARS の拡大度合によっては、アジア向輸出が前年を割り込むことも予想される。旅客便の減便により供給力そのものがダウンしており、今後の輸送に支障を来すことも考えられる。
	旅行代理店 (大企業)	○ 関西地区の支店全体（14 支店）で、SARS を理由に取消しになった団体旅行が 91 件（3123 名、取扱額約 3 億 2 千万円）あり、影響は大きい。旅行手控えのため、香港駐在員事務所の業務量が大幅に低下したので、社員 2 名をオーストラリア事務所のヘルプ要員として派遣した。 ● 当初は狂牛病のように比較的早期に解決するものと楽観視していた。このままの状態が続けば、会社の業績に与える影響は甚大だ。
	旅行代理店 (大企業)	○ 会社全体でみて、海外旅行の利用客数が対前年比で 4 月が 70%（但し GW(4/25～5/5)は 40%)、5 月が 40%台、6 月が 50%台で推移しており、大きく前年を割った。中国（香港を含む）などアジア方面への旅行客数の減少が大きな要因で、5 月がボトム（最悪）と予測。中国、台湾以外は、除々に予約増加傾向にある。 ● 夏期（7～9 月）は、中国、台湾以外は 100～110%に回復すると予測。但し当社の海外旅行客数における中国と台湾を合わせたシェアは約 16%にのぼるため、海外旅行全体では、前年比 85%程度になると見ている。

2. 今は影響が出ていないが、今後の影響を懸念

	業 種 (規 模)	○ 既に影響が出ている事項 ● 今後影響が懸念される事項
製 造 業	食品製造 (大企業)	○ 海外生産、海外向販売等を行っていないので、直接的影響はない。 ● 一部中国等アジア産の食材を使用しており、食材に関する風評被害や食材の調達に支障が出ることを懸念。
非 製 造 業	金属製品卸 (大企業)	○ 目立った影響はない。 ● 出張自粛により、営業活動の弱体化や、新規取扱商品の初物検査立会いの遅れに伴う入荷の遅延などの影響が出そう。
	百貨店 (大企業)	○ 旅行用品などの売れ行きが悪くなっているが、全体からみるとごくわずか。 ● 海外からの製品調達に支障が生じるのではないかと懸念している。
	スーパー (大企業)	○ 目立った影響はない。 ● 秋以降の商品調達に影響が出そう。
	ホテル (大企業)	○ 目立った影響はない。 ● 食材関係の調達に支障が生じるのではないかと懸念している。

3. 今後プラス効果を期待

	業 種 (規 模)	○ 既に影響が出ている事項 ● 今後影響が予想される事項
非 製 造 業	運輸・倉庫業 (中小企業)	○ 目立った影響はない。 ● 具体的な兆候があるわけではないが、アジア地域の経済機能低下に伴い、国内向け需要が増加すれば、国内物資の流通が活発化し、国内運輸業へのプラス効果が期待できるかもしれない。
	観光バス (大企業)	○ 目立った影響はない。 ● 海外旅行手控えの反動で、同時多発テロの時は売上高にして2～3%増加した。今回も国内旅行が活発化することを期待したい。(他方、全体としてはごくわずかだがアジア地域からの来日観光客の利用は減少を予想)

4. とくに影響なし

ラミネート紙（防湿紙製造）（中小企業）、
鉄道（大企業）、外食産業（大企業）、不動産業（大企業）、遊園地（大企業）

以 上